

平廣告研究會主催

「買物を聴く座談會」(二)

出席者 市長夫人青沼勢以子、郵便局長夫人木村ヨシ、金城醫院夫人金成キミ、吉田鐵工所主夫人吉田よね、第二小學校訓導主任栗とし、郵便局電話監督官谷ヨシ

主催 齋藤會長、森川常任幹事、齋藤特別委員、他に商工會高木書記、本社野澤主幹

不愉快な電話の期待

夫人「先の注文へ追加するつもりで、配達が出ましたか？」と聞くと、もう一つ頃ですと云はれると、一つのため二度足を運ばせることを氣の毒に思ひあとの追加を控へるやうなこともあり、正直に云はないと客に不愉快な感じを與へた上注文を損する結果になりませんか」

齋藤「學校などの注文にも約束の期日に納入せざる困ることが澤山あります」

夫人「ハイ今すぐにと云ふて来ないのが一番いけないですね、予定が狂つて」

高木「商店側の配達が遅れるのは人不足で小僧さんが得られないため、學校を出ると殆んど工場などすぐに給料の買へるところに行つて了ひます」

夫人「東京へ出ると職人などもよい金に成るので地方からどん／＼出るやうです、商店の店員不足は確かに困りてせう」

高木「大商店などでは店舖のサービスにも困るから配達の時問を何時から何時までと定めやうかと研究してゐるところなどもあります、注文は可成一處に纏めて貰へると配達の時問も経済に成るでせう」

夫人「注文品を持って来て釣銭が無いのにも困ります」

森川「注文のとき、五圓ですから釣銭を持って来て下さい」と注意してはどうでせう」

夫人「何も云はないのに釣銭を持参して来る氣のきいた店もありです」

書畫骨董大賣立會

某名家御秘藏の書畫骨董品を引受け左の如く賣立てます、處分品ですから價格も無視して投出す覺悟です。

一、會期 五月十二日(金) 十三日(土)二日間
(午前中下見午後十時まで競賣)入場隨意

一、會場 平市公會堂日本間

一、處分品

- 一、蒼古幽玄を極むる古代佛畫を始めとして奈良朝時代の典雅麗美なる古代美術
- 二、豪壯雄大な足利時代の北宗畫
- 三、桃山安土時代の豪華を競ふ土佐狩野兩派の名作逸品
- 四、徳川期の諸流各派を網羅せる大家巨匠の代表作
- 五、明治、大正、昭和の東西大家傑作逸品の書畫
- 六、文人、歌人、高僧、勤王志士の遺墨

主催 東京新興美術社
主 國華美術俱樂部

優良「工作書」提供

マルトモ書店

加納俊介著 實習指導最新機械製圖法 定價一圓九十錢

水田福松著 最新旋盤工作附參考諸表 定價一圓八十錢

最新旋盤工作附參考諸表 定價一圓六十錢

森道雄著 實習指導切作製法 定價一圓六十錢

實習指導切作製法 定價一圓二十錢

實習指導ドリンド製法 定價一圓八十錢

實習指導ドリンド製法 定價一圓二十錢

杉浦宗三郎著 仕上工作の仕方 定價一圓五十錢

銀治工作の仕方 定價一圓五十錢

運試研究會著 實験技術者必携 定價一圓八十錢

菊地慎太郎著 最新旋盤工作入門 定價一圓七十錢

特價 九十錢

一讀直に役に立つ初歩の方への懇切な指導書
内容御覽の上御買上願います

募集

永續者には將來の保證を致します

ボイさん

調理見習婦人

◆14歳以上30歳迄の健康な方
◆3年以上勤続出来る方
◆親権者若くは本人御來談下さい

平市銀座街 電話529

ザロン

おでん 酒の店
やき鳥 味郷
茶めし

平三田小路

神經痛・ロイマチス

漢布方**百草根**

陸海軍病院御用藥

平代理店 丸龜商店
平市大町 電話一三三番

陽性 胃腸病科 門 專 村松

花柳病科 泌尿器病科 皮膚科 肛門病科

院醫科腸胃性村松
(番七〇一電)町南市平

江戸前立食 御好み天婦羅

壽司 本本店
天婦ら 電六七九番

小料理 竹小名濱支店
電四七番

最新流行の 下駄と草履

ドヨリモ安い 三井履物店
平南町 電話一八一番

耳鼻咽喉科
レントゲン科

醫學博士 高柳博明

平市駅前「電話三三六」

西村屋藥局

藥品百貨の店です
寫真機材料の店です

電話 3番です

平市本町二丁目

仙のいか切込 干やなぎ

平市十橋 仙鈴藏魚店
電話六六二番

鋭後の作家計費引下
一日のサビとスデ
劣利用下

平マーケット